

■ 2024年度 事業計画 ほっと・ホット（共同生活援助）

はじめに	昨年は利用者、職員共に胃腸炎、インフルエンザに感染はしましたが、幸いにも大きな病気、大きな事故などはなく1年を過ごす事ができました。
事業所の基本方針	安心して暮らせる生活を送れるようにします。
事業所運営	数年先のことを考え、状況を把握しつつ、家（ホーム）はいつもと変わらない暮らしを提供できるよう心掛けます。
利用者支援	みんながみんなと安心して生活が送れるように、意思決定支援の定義に基づき支援していきます。それぞれ通院の機会も増えてきており、今後もその需要は高まっていくものと考えています。今ご家族が対応をしている通院も徐々に職員へと移行をしていきたいと思えます。
今年度重点目標	メンバーやご家族、高齢化によりグループホームへのニーズも高まっており、365日の開所に向けての準備、週末帰宅するメンバーの宿泊日を増やすことを進め、同時に支えるスタッフの確保、育成も行っていきます。
活動計画	行事などは引き続き社会状況や、職員体制の安定確保が出来次第、計画していきたいと思っています。個別に予定を説明しながら対応し、安心して過ごせるように取り組みます。
豊かな生活を送るための取り組み	現状では限られた選択肢ではありますが、ドライブや散歩など気分転換をしつつ、ホームでのんびり過ごすだけの時間も設けていき、併せてそれぞれが希望する休日の過ごし方も叶えていければと思っています。
その他防災対策	避難訓練を年3回行います。いざという時の連絡体制などを築き、グループホーム職員だけでなく、法人全体でバックアップしてもらえるようにしていきます。
利用者の状況	利用者： 6名 男性：4名 女性：2名 44歳～51歳
職員の状況	職員：常勤1名 支援員パート7名 調理パート2名 （2年前の計画時、常勤2名 パート15名） 支援員が昨年度も減り、増えていないため、毎月のシフトを組むことにも苦労しました。3月から学生パートが入り、シフトは組めますが、定年間近となってきたりいるため、次の世代のパート、または非常勤職員など、スタッフの育成・確保は急務になっています。